

われわれの病院・診療所は
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮野 暁
月一回発行 1部 50円

すべての人がその人らしく 生きられる社会を!



保健大学公開講座

ジェンダー・性の多様性をテーマに開催

12月19日(火)の保健大学第4講座は「ジェンダー」とは男らしさ女らしさだけではない性の多様性について」を公開講座として開催し、一般参加を含め18名が参加しました。

講師の松村助産師から「ジェンダー」「LGBTQ」についての説明がありました。「日本ではまだまだ性別によってさわいといわれる役割、態度、行動を判断されがちです。しかし、これからはLGBTQの当事者だけでなく、誰もが、ありのままの自分で生きられるような地域社会になるように、考えたり、出来ることから行っていきたい」との話がされました。

実際にプライベートな内容の話をするように聞けばいいのか、受け止めればいいのか悩むことがあるかもしれません。しかし、今までと態度を大きく変える必要はなく、相手から何かを打ち明けられた時には「そ

うなのね。話してくれてありがとう」という気持ちを伝えて、その方の理解者【ALLY(アライ)】であると示すことが、ジェンダー平等の第一歩だと学びました。普段聞きなれない「ジェンダー」や「性の多様性」がテーマでしたが、

受講者からは「なかなかこのような内容の授業に巡り合うことがないのでとても良かった」「ALLY(アライ)を知れてよかった」などの感想が寄せられました。
保健師 切替彩月

もう少し理解を深めるために

「ジェンダー」とは?

「ジェンダー」は、いわゆる「男らしさ」「女らしさ」で、生物学上の「性差」に対して、社会的・文化的につくられる「性差」を表現する言葉として使われるようになりまし。

「LGBT」とは?

セクシユアル・マイノリティ(性的少数者)を代表する言葉で、右囲みのように頭文字を合わせたものです。

しかし、性的少数者はこれらに収まるものではなく、もっと多様なものであるため、さらに頭文字を足したり、多様な性的少数者がいることを表す「+」が

日本の男女平等は世界最低水準

ジェンダーギャップ指数(主要国ランキング)

順位	国名	順位	国名
1	アイスランド	30	カナダ
2	ノルウェー	40	フランス
3	フィンランド	43	アメリカ
4	ニュージーランド	79	イタリア
5	スウェーデン	105	韓国
6	ドイツ	107	中国
15	イギリス	125	日本

世界経済フォーラム「ジェンダーギャップ報告書2023」

日本医療機能評価機構から認定を受けました

2023年12月に日本医療機能評価機構の機能評価を受審し、「一定の水準を満たしている病院」として認定を受けました。2016年12月に初めて認定を受けてから4回目の認定となります。

医療機能評価とは

医療機能評価機構は、「医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関」と定義されています。定期的(5年ごと)に、客観的かつ公平な目線で評価します。

大きかった

7年間のブランク 審査員の立場は秘匿となつていますが、概ね病院の院長、看護部長、事務長の現職または経験者で構成されており、全国の病院の評価に立ち会っていますので、客観的かつ公平に厳しく評価されます。また、評価項目は60項目に及び、病院運営の指針にも活用できます。

受審の成果を

患者さんのために

病院機能評価受審の本質的な目的は、患者さんに安心・安全の医療を提供できるように組織的に改善をはかっていくことにあります。

船橋二和病院 副事務長 伊藤潤

セクシユアリティの多様性

セクシユアリティとは、人間の性のあり方を指し、男性・女性の2類型だけでなく多様な性のあり方があり、以下のような視点でとらえられています。

- ①身体的性 生まれながらの生物としての役割
- ②性自認 自分自身が自認している自分の性
- ③性的指向 どの性に恋愛感情や性的感情を抱いているか
- ※性表現 自分が表現したい性(ファッションなど)
- LGBTQ+とは
 - L(レズビアン) 身体的性・性自認が女性で、女性が好きな人
 - G(ゲイ) 身体的性・性自認が男性で、男性が好きな人
 - B(バイセクシユアル) 男性・女性のどちらも好きになる人
 - T(トランスジェンダー) 身体的性と自分が認識している性が違う人
 - Q(クエスチョニング) 自分の性のあり方がわからない、決めていない人
 - + (プラス) 上記以外のさまざまな性
- ※上記と同様の考え方で、異性を好きになる人は「ストレート」と呼ばれます

「LGBT」の方は周囲にいない?

国内の調査では約10人に1人が性的マイノリティの

りを見渡してみませんか?

ス)をつけ「LGBTQ+」

なご表現しています。

の性的指向と性自認を表現

しています。

今回の記事を機に先入観を捨てて、自分事として周りを

この「性の多様性」は、当然「ジェンダー平等」を男女の問題だけにとどめず、そのとらえ方を広げることになります。

(助産師 松村真子)

「性の多様性」とジェンダー平等

性の多様性とは「LGBT」に限定されるものではなく、すべての人を対象として、それぞれの「性」のあり方を認め合い、尊重しあうこと、という意味が込められています。

最近ではすべての人を当てはめる「SOGI(ソジ)」という表現も使われています。SOGIとはSO・性的指向(好きになる性)とGI:性自認(心の性)を表し、すべての人の性的指向と性自認を表現しています。

最近ではすべての人を当てはめる「SOGI(ソジ)」という表現も使われています。SOGIとはSO・性的指向(好きになる性)とGI:性自認(心の性)を表し、すべての人の性的指向と性自認を表現しています。

生き生き友の会・地域の活動

八木が谷



1月10日(水)に成田山に8名で行って来ました。思ったよりも混んでいなかったので、梅がほころび始めた公園などをゆったりと回ることができました。足腰に自信がない参加者も自信がついたようです。お昼は参加者全員で同じテーブルを囲むことができ、楽しい時間を過ごせました。(八木が谷地区 山田富美子)

御滝



1月12日(金)に15名の参加で「いつでも元気読者会」を開催。自己紹介後、噺家サンヨー亭シャープ(蓮見さん)による落語三席。ひと笑いのあと、『いつでも元気』誌の中の「今、語らねば」を蓮見さんに朗読してもらい懇談。東京大空襲を体験された方からの生々しいお話に、「戦争は絶対いけない」と強く心に刻んだ1日でした。(御滝地区 内田睦子)

丸山



1月14日(日)、「亀戸七福神めぐり」に行ってきました。参加者は24名でその半数が他地区からでした。亀戸は、1945年3月10日の東京下町大空襲で焼け野原となり、一晩で10万人が犠牲になった地域です。再び戦争の悲劇を繰り返さないようにと、七福神の寺社には黒く焼かれた仏像や塔が残されています。歴史を後戻りさせる大軍拡が進められる中、平和の尊さを考える機会となりました。(丸山地区 小川正光)

鎌ヶ谷西



1月17日(水)、17人の参加で4年ぶりに新春お楽しみ会を開催。地区考案のお手玉とテニスボール、ピンポン玉をそれぞれ4つずつ投げて合計点数を競い合う「ダンボール入れゲーム」で大いに盛り上がりました。体操をしたり、おしるこを食べながらの近況報告、『いつでも元気』誌編集部には組織部の楠本さんも交えて感想を出し合ったりしました。(鎌ヶ谷西地区 小川富恵)

鎌ヶ谷東



1月29日(月)、「野生のオオハクチョウ観察会」を白井地区と共催し16名が参加。暖かい日に恵まれ、白鳥がいっぱいいる姿をじっくり見ることができました。白井地区の方に案内、説明してもらいとても良かったと皆さん大満足。帰りの中華ランチも好評でした。(鎌ヶ谷東地区 並木美代子)

高根台



1月31日(水)、「サプリメントについて」をテーマに健康講座を開催し26名が参加しました。講師はすこやか薬局の宮原香苗薬剤師。普段何気なく飲んでいたりするサプリメントですが、意外なことが次々と話され、「そうだったのか!」と気づくことがたくさんありました。特にサプリメントの注意点について知ることができて、有意義な講座でした。(高根台地区 瀧口伶子)

職場紹介

産婦人科外来・3西病棟 (2月号の続き)

さて、近頃の母子を取り巻く環境は本当に様々です。DV(ドメスティックバイオレンス)・経済的困窮・こころの病など。妊娠中から特別な支援を要する妊婦さんも多く、行政機関との連携も重要な役割となっています。

どの分娩施設でも、母子の健やかな成長のために日々努力をしていると思います。そして、子どもの虐待のニュースに心を痛めているのは医療者でなくても皆同じ気持ちだと思います。地域のママ達が安全に出産を迎えられるよう良いスタートを切れるよう、継続した支援も重要です。

人は出産したからといって、すぐに上手に子育てができるわけではありません。ママは出産後の痛みや疲労や寝不足、ホルモンバランスの変化で体も心も大きく揺らいだりつらい時期でもあります。その体で睡眠を削っての新生児のお世話が容赦なく始まります。

出産の場面はいつだって命がけです。命がけで出産したママこそ、周囲の人にいたわってもらい、十分に甘え、大切にされて良いのです。つまりママが大事にされてこそ、赤ちゃんも満たされるといいますし、



すべてのママが大事にされる世の中になれば良いなと思います。

病院で応援できることは僅かかもしれませんが、これからもママと赤ちゃんの近くでサポートさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

助産師 持木 葉



泡あわ沐浴はお湯をためない沐浴です

船橋二和病院研修医2 岸村美宥 医師

船橋二和病院研修医 岸村美宥 医師

帯状疱疹とは

帯状疱疹とは、水ぼうそうと同じウイルスによって引き起こされる病気です。子供の頃に水ぼうそうにかかった場合一度治りますが、このウイルスは神経細胞に潜んでいます。様々なきっかけで免疫力が低下すると、このウイルスが再び活動し始め帯状疱疹を発症します。

どのような症状が現れるか

次のような症状が現れる場合、帯状疱疹が疑われます。痛みを伴う水ぶくれが体の左右どちらか片側にのみ帯状にみられます。痛みは、皮膚の違和感やかゆみとして感じる程度から、ピリピリ、ズキズキ、チクチクするような痛みや焼けるような痛みまで様々です。これらの痛みは、3〜4週間続くことが多いと言われています。

帯状疱疹の治療

治療は抗ウイルス薬や鎮痛薬を使用しますが、皮膚の症状が治まった後も神経の炎症が残る3ヶ月以上痛みが続く場合があります。これを帯状疱疹後神経痛と呼びます。場合によっては、年単位で痛みが続くこともあります。

何より予防が大切

80歳までに3人に1人が帯状疱疹にかかると言われており、様々な合併症を起す可能性もあるため予防が大切になります。免疫力の低下を防ぐために、バランスの良い食事や適度な運動・睡眠など日頃の体調管理が大切となります。

また、50歳以上の方は予防接種を受けることが出来るようになり、痛みを伴う水ぶくれが帯状にできた方や予防接種に興味がある方は、一度医療機関にご相談ください。



岸村美宥医師 プロフィール 船橋二和病院2年目初期研修医